

○令和7年1月29日～31日 地域医療構想に関わる特別委員会の県外行政視察を行いました。

地域医療構想に関わる特別委員会では、「地域医療構想に関わることについて」を調査事項として、新潟県および長野県において計3カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会新潟県央基幹病院	新潟県 三条市	新潟県央医療圏における中核病院として令和6年3月に2病院を統合して開設し、地域内の各病院・診療所、介護・福祉関連施設や行政等と連携・協働しながら「県央地域全体で一つの病院」のように機能し、「地域内の患者は地域内で診る」ことを目指した医療提供体制の構築への取組について説明を受けた後、地域の医療再編時の課題、運営を指定管理とした理由やその条件、圏域内での病床や医師数の調整手法、医師確保に向けたYouTubeでの情報発信等について質疑を行った後、院内を見学しました。
②	新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院	新潟県 南魚沼市	魚沼圏域の「地域全体で一つの病院」を合言葉に「病院完結型」から「地域完結型」への医療の推進や、新潟大学と連携して同病院に併設している「新潟大学地域医療教育センター」の周辺病院での研修など、魅力的なカリキュラムや若手医師の集積・育成への取組等について説明を受けた後、臨床研修・専門研修における新潟大学や地域の各病院との役割分担の状況、新潟県の医師確保における地域枠の状況等について質疑を行った後、院内を見学しました。
③	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	長野県 佐久市	地域で生活をささえる地域包括ケアシステムを目指して地域ケア科を開設し、病院グループ内での電子カルテ共有や医療機関間での人事交流、患者をスムーズに在宅支援につなぐ「移行期支援サテライト」の実施、また、医師確保への取組として、グループ病院3箇所のそれぞれの特徴を生かした研修プログラムや、「足腰が痛い」体験を通じて患者を理解し診療につなげる農業実習等について説明を受け、その後、在宅医療に関する他の医療機関との連携内容、医師や看護師を惹き付ける秘訣、経営面の現状と取組の方向性、研修内容の考案方法等について質疑を行いました。

①済生会新潟県央基幹病院



②魚沼基幹病院



③佐久総合病院

